

協議結果

次の協議会を下記のとおり開催した。

名称	第2回益田市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和3年8月24日（火）14：00～15：30
開催場所	益田市役所 大会議室
出席者	○出席者 [益田市地域公共交通活性化協議会委員] 島田博会長、加藤博和副会長、渡辺健一委員、藤原政志委員、平西邦裕委員、坂本博志委員、加戸憲治委員、平塚峻也委員、川崎友弘委員、伏谷正明委員、村岡宙委員、品川勝典委員、岡崎朝子委員、鬼村まり子委員、佐藤稔委員、丸山武委員、三浦恭嗣委員、岩崎伸史委員、中島克仁委員、梅津明則委員、野村美夜子委員、大庭健志委員 [事務局] 田原連携のまちづくり推進課長、清水課長補佐、吾郷係長 ○欠席者 [益田市地域公共交通活性化協議会委員] 原忠男委員、草野和馬委員、石川洋紀委員、豊田芳明委員
議事	議題1 益田市地域公共交通活性化協議会委員の追加について 議題2 益田市地域公共交通計画策定について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	2名
問合せ先	政策企画局連携のまちづくり推進課 電話 0856-31-0600

協議経過

1. 開会	
2. 議題	
議題1 益田市地域公共交通活性化協議会委員の追加について	
○事務局から、議題1 益田市地域公共交通活性化協議会委員の追加について「資料1」に基づき説明 ・地域公共交通計画を策定する上で、都市整備、観光まちづくり、そして福祉などとの調和が求められているため、益田市福祉環境部福祉環境部長を新しく委員に追加したい。	
委員	(意見なし、承認)
議題2 益田市地域公共交通計画策定について	
①人口減少、高齢化社会への対応 事務局から、議題2の中の「人口減少、高齢化社会への対応」について「資料2」に基づき説明	

委員	市民アンケートの件ですが、配布数と回収数を教えてください。
事務局	配布数は1400、回答は681、回答率が48.6%。益田市内に居住する住民から、18歳以上の市民1400人を無作為に抽出し、アンケート票を配布しています。
委員	それぞれの旧市町単位であったり1単位ぐらいに、高齢化率、人口の推移とかが提示されて、それに対応する公共交通であったりまちづくりといった形になると思います。地区ごとの、そういったデータもこれからお願いできたらと思います。
事務局	地区ごとの人口の推移や、高齢化を示せるように資料作成を進めていきます。
委員	3ページの左下の人口と高齢化率について、もう少しわかりやすいものにかえていただくと有り難いかと思います。2つの指標が一つのグラフに出てるんですけど、指標の左側が5万と2万5千の人ですね、右側がパーセンテージなんですけども、最初に見た時にこの数字の意味がちょっと捉えきれなかった目盛がはっきりしてればいいのかなど。
事務局	示し方を検討します。
委員	4ページのところで、運転経歴証明書の交付数と、市民アンケートによる自動車免許証の返納後との関係をイコールでとらえていいものか。関連がどのようにあるのかを一言加えていただくと、この二つのデータが比較しやすいのかなと思っています。返納者数だけの記載でよいのではないかと。
事務局	自動車の運転免許証の返納とアンケートの関係性について、もう一度見直しをして、第三回のところでお示しできればと思います。運転経歴証明書の交付数を記載することがいいのか、それ以外に示せるものがあれば差し替えるなど検討します。
委員	アンケートに回答した人が、今後もし返納したら利用する交通手段として路線バスが39.8%、家族の送迎が21.2%となっている。他の自治体でこのアンケートをすると、多分タクシーというのが上位にあって路線バスはもうちょっと低くなる傾向があるんですが、益田市の場合は、路線バスが39%ということで一番多くなっている。多分、石見交通さんが免許返納された方が経歴証明書を示すとバスの運賃を半額にする取り組みをされてるのが影響あるのかなと思ったりしました。それをどれぐらい皆さんが認識されてるかは分かりかねますが、そういうことも何か背景にあるのか？あるいは路線バスが市民の皆さんの間に認識があるのか？その辺を上手く結びつけて、公共交通の利用促進、今後の政策に紐づけていただきたいと思います。
事務局	他市との比較は、当市の中ではなかなか聞けないところをいただきまして大変ありがとうございます。今後の施策の方にも、益田市の状況を見出しながら反映していきたいと思っています。
②公共交通の利便性と利用環境	
事務局から、議題2の中の「公共交通の利便性と利用環境」について「資料2」に基づき説明	
委員	高校生アンケートについての配布数と回収数について教えてください。
事務局	益田市、5つの高校2年生を対象に、配布数は496、回答は453、回答率91.3%です。

委員	(運転免許証を)返納したくても返納できないという高齢者が多い。高齢者が通院、買い物の時に、どういう移動手段を利用しているかというのを調べたらと思うんですが。
事務局	公共交通が十分じゃないといった地域の皆さんの現状につきましては、年度の前半でいくつか地域組織・自治会の方で、ご意見いただく場を設けさせていただきまして、情報を捉えさせていただいております。その他、様々な場面で私達も聞いてまいりたいと思います。
③まちづくりとの連携	
事務局から、議題2の中の「まちづくりとの連携」について「資料2」に基づき説明	
委員	数字が出てますけど、令和2年度はまだ、取れないんでしょうか。
事務局	担当課と調整し対応します。
委員	外国人宿泊客延べ数ですけれども、これだけ見ると、結構益田市に外国人が来ている様に見えるんですけども、実態は確か違ったと思います。観光客としておいでになった方と、そうでない方がいらっしゃると思ひまして、そうでない方の数字が伸びて千に行っているという風に認識していますので、このデータの見せ方として、市民の皆さんに正確に伝えていただくような工夫をして頂けたらと思っております。
事務局	ご意見、現状を教えてくださいましたので、示し方などを観光協会、観光振興課などと相談していきたいと思ひます。
委員	この数字は、市内の宿泊所に泊まる外国人の方についての数字だけが書いてある。市内の宿泊所に宿泊された方について書いてあり、(観光目的で)益田市に来た外国人の数を適正に反映したものではない。内容的なところでは、就労目的でこられた外国人の方であるとか、個別の内容についての説明はここでは必要ないと思ひう。
委員	9ページのところにある自転車活用推進計画が、公共交通の計画とどういうふうな関係性を持っているのかを教えてください。
事務局	自転車活用推進計画に記載のある駐輪場の整理や公共交通へのアクセスのところになります。
委員	立地適正化計画を今年度と来年度2年間かけて策定されていると見受けられたのですけれども、この辺にコンパクトなまちづくりをやろうと、誘導してくる地域を指定してくる感じになるのかなと思ひうんですけれども。そういったところと郊外をネットワークで結ぶ公共交通になるのかなと思ひうのですが、どの辺に誘導、集約して、地域構造に持っていこうとされてるのか？その辺の情報も教えてくださいましたらと思ひます。
事務局	立地適正化計画は都市計画区域内での計画で、都市計画区域内での考え方、都市構想をどうしていくかという計画です。今年度はアンケート調査を行うこととしており、そこでいろんな課題を見つけながら、次の展開を図って来年度に向けて計画を策定していきたいと思ひっており、具体的に、居住誘導区域を今どこにということではございません。
委員	三宅御土居跡の辺りはコンパクトに文化財が集まっています、自転車で近場を回る感じになるの

	かと思う。大きな駐車場とかハブになる交通の結節点になるようなところを旧益田あたりは設けにくいので、例えば東原遺跡の辺りに駐車場を設けて、そこから三宅御土居の方にバスや自転車で移動するなどあるんですか？
事務局	大きなハード設備に関して協議・検討は、現時点していません。巡ってもらう手段は色々な方法があるかと思しますので、ソフト対応の部分も含めて検討していければと思っております。
委員	現状と課題の6項目ありますけどこの順番について、3番にまちづくりとの連携が入ってるが、5番とあたりかなど。6番のところと同じような内容であると感じました。
委員	(意見なし、承認)
④地域交通の担い手不足	
事務局から、議題2の中の「地域交通の担い手不足」について「資料2」に基づき説明	
委員	運転手不足になると、幾らダイヤ、路線を計画されても運転手がいなければ運行ができなくなります。委員の皆さんにもこの問題については重点的にお考えいただきたいと思います。コロナ禍では、急激に離職者が増えてきております。事業者側も厳しい状況に置かれ、長時間労働、低賃金、なかなか若い人が集まらない業種でございます。事業者側と行政側とで密接な連携をとっていただいて、この問題に取り組んでいただけたらと思っております。
事務局	担い手不足、運転手不足ということに対して、行政でできることは何かといったことも、施策の中でご意見をいただきながら考えていきたいと思っております。
委員	運転手不足は長い間続いており、当社の状況もグラフと大きな差はないと思っております。雇用の延長とか70歳ぐらいまで働いてもらっていますけどそれでも不足していますし、退職者も今後どんどん出てくるので常に募集をしいる非常に厳しい状況です。維持していくためにも、引き続き募集していきたいと思っておりますので皆様のご協力よろしく申し上げます。
委員	運転手確保に努めていかなければいけない部分は、その会社自身の問題であると思うんです。その会社が魅力的であれば、当然来てくれるはずだと信じており、会社自身が何とか頑張っていかなければと思っておりますので、皆様のご協力をよろしく願いできればと思っております。
事務局	現状、お知らせいただきましてありがとうございます。それぞれのところで頑張っている所をどう後押しできるのか、それぞれの立場による役割というのがあるかと思しますので、何ができるかというところを、反映させていただきたいという風に思います。
⑤公共交通利用者の減少と行政の財政負担	
事務局から、議題2の中の「公共交通利用者の減少と行政の財政負担」について「資料2」に基づき説明	
委員	路線とか系統ごとの状況、乗合タクシー等についても、それぞれのエリアの状況がわかると、今後の対応の仕方が変わってくと思っています。それから乗合タクシー・生活バス・過疎バスも、この5年間で半減ぐらいになってるわけですが、全体的に減ってるのか、極端に減っている路線があるのかとか、そういったところがわかれば、一律対応じゃなくて、それぞれ違う対応と

	いうことも考えなきゃいけないのかなと思いますので、そういった資料を示して下さいなと思っております。
事務局	系統ごとの数字を記載できるようにしたいと思います。
⑥公共交通に関する市民意識の醸成 〈事務局から、議題2の中の「公共交通に関する市民意識の醸成」について、「資料2」に基づき説明〉	
委員	(市民が公共交通を)利用しない理由をオープンにする必要があるんじゃないか？市民意識の醸成となると、(利用しない)原因を解決しないと利用に繋がらないという心配がある。
事務局	アンケート調査の中で「利用していない理由」を質問していなかったところがあり、お示しをするのは難しいですが、併せて質問した「満足度」の設問の中で満足度が低かった項目と関連させながらまとめてきました。課題を6つに分けてはありますが、これを全く別々なものではなく、総合的、複合的に考えて分析をしていきます。
委員	公共交通の現状について回覧等で回しても高齢者は詳しく見ないので、例えば、高齢者の研修等を利用して高齢者に(公共交通の)現状を理解してもらいころから始めれば良いと思いました。
事務局	ご提案ありがとうございます。確かに紙1枚でどうぞでは寂しいことですので、皆様が集まっている所でご紹介できるようなことも取り組みの中でしていきたいと思っております。
委員	鉄道・バス・タクシーいずれも利用していないという数字を改めて聞くと、衝撃的な数字ではありますが、益田は車の町ということも象徴されてるんだと思います。この利用していないという数字を少なくしたいところです。市民意識の醸成というところで、2、3年前に、ワークショップを開催したと思うんですけど、そういうことをやって、行政と一緒に何か新しいことができたらと思いました。
事務局	ご提案ありがとうございます。まさに協働というところになろうかと思っております。事業者として参加し、(市民と)直接でお話できるそういった機会も市の方では捉えて、こちらの施策として検討して参りたいと思っております。
委員	廃止になった真砂線の最終便の話ですが、真砂線の最後にみんなで見送ろうということで、地域に呼びかけて真砂線に乗りグラントワ(美術館)へ行き、(途中で)石見交通を通りますので、大弾幕を掲げて「石見交通ありがとうございました」というイベントをしたんですけど、地域をあげてやると人が乗ってくれたりします。例えば、バスを使ってどこかへ行ってみようっていうのを地域の中でやってみる。それは一つの案としてあるのかなと思いました。
事務局	地域自治組織20地区立ち上がりまして、それぞれの地域で課題に取り組んでいただいております。そうした中で、公共交通の利用について意識の醸成に向けて取り組みたいとおっしゃっていただければ、こちら協力させていただきます。先ほどの様な取り組みがありましたら一緒に相談しながら、やっていけると思います。ご意見ありがとうございます。
委員	地域住民の声を聞くような場があったらいいんじゃないか。そういう場を行政と交通機関と地

	<p>区民あたりが持つと、多少利用度が上がってくるんじゃないと。地区民の声も聞き、みんなでバスを利用してみようっていうことを今後考えていかんと。ぜひそういうことを検討していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>それぞれの立場から同じテーブルの上で話し合っ、良いものを見出していくような場を作っていくことは、とてもいいことだと思っておりますので、何らかの場を提供したいと思います。</p>
委員	<p>20 ページのグラフで、(他の自治体では)市民が公共交通を積極的に利用するが多いかと思うんですが、益田市の市民アンケートで見ますと、「地域が主体となり新たな公共交通を運行する」が一番多くなってるということで、市民の皆さんが、新たな公共交通を運行するっていうことですから、既存の公共交通に対する不便さといいますか不満を持っておられる反映ともとらえられるんですけども…。自分たちが主体となって考えていくことが重要だと多くの方が回答されてると考えると、今後の計画を作る上では強みとなるのかなともとらえておりますし、住民も委員の発言も非常に前向きな発言が出ておるので、こうした計画づくりを通して、次につなげていっていただきたいなというふうに拝聴しておりました。</p> <p>「地域は主体となり新たな公共交通を運行する」の回答が多いので、例えばこのアンケートでどの地域にお住まいですかと属性があると思うので、そういったことを分析すると、その地域でワークショップをやるとか新たな糸口につなげていけるのかなと思います</p>
事務局	<p>「地域が主体となり新たな公共交通を運行する」が回答数で非常に高かったということで、市民の皆さんが公共交通に対して自分たちで主体的に関わりたい、関わる必要があるという風に持って下さっていることは非常に心強いという風に私も改めて感じたところでございます。</p>
委員	<p>この課題のところに住民と交通事業者と行政が出てくるんですけども、いろんな用務のために公共交通を使って町に出て帰ってくるってことがあると思いますので、そういう目的先に、公共交通利用を促進してもらおうような支援してもらえればいいかなと思ってます。</p> <p>公的な機関に勤めてる方が公共交通を使って帰ろうとか、ユーザーとしての行政っていうのも期待したいなというふうに思っております。</p>
事務局	<p>目的別の整理、それから目的先との連携といったこと、自らが公共交通を利用するところでは、おっしゃる通りだなという風に思いました。益田市役所におきましては、毎月20日にノーマイカーデーを設定し、職員へ呼びかけをして、できるだけ公共交通機関を使うように取り組んでおります。ご提案を様々頂きまして、ありがとうございます。</p>
委員	<p>タクシー業界の方々、石見交通の皆さんには子供たちの通学のお手伝い、見学でのサービス、いろんなことで助けていただいております。データでは現れてこないんですけど、運転手さんと子供たちの関わり、とても気持ちがいい運転手だったと子供達から声を聞くことがあります。運転手さんと利用者の関わりはすごく大事なキーワードになってくると思っています。</p>
会長	<p>本日の議題であります現状と課題の整理をする中で、次に繋がる案をいくつかいただきました</p>

	<p>ので、本日の協議内容を踏まえて、事務局には整理していただきたいと思っております。また、庁内で関係課と協議いたしまして、第3回開催時には、基本方針や関連施策も含めてご提案の方進めていただきたいと思っております。事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>本日の協議を踏まえまして、事務局として交通計画の策定、進めて参りたいと思っております。</p>
会長	<p>それではこの項目移させていただきますよろしいでしょうか。</p>
<p>その他</p> <p>○事務局から、益田市地域公共交通会議委員について説明。 (委員数：10名、任期：令和3年10月～令和5年9月)</p>	
<p>閉 会</p>	